



平成 24 年 6 月 5 日

各 位

会社名 王子製紙株式会社  
 代表者名 代表取締役社長 進藤 清貴  
 (コード番号 3861 東証・大証)  
 問合せ先 執行役員 経営管理本部長  
 武田 芳明  
 (TEL. 03-3563-1111)

### 特定子会社の異動に関するお知らせ

当社は、当社の持分法適用会社である日伯紙パルプ資源開発株式会社の株式を追加取得することを決定し、本日株式売買契約を締結いたしました。これにより、同社および同社の子会社である Celulose Nipo-Brasileira S.A. が当社の特定子会社となりますので、お知らせいたします。

#### 1. 異動の理由

本追加取得に伴い、日伯紙パルプ資源開発株式会社（以下、「JBP」という）および同社の子会社である Celulose Nipo-Brasileira S.A.（以下、「CNB」という）が当社の連結子会社となり、また当該 2 社の資本金が、それぞれ当社の資本金の 100 分の 10 以上に相当するため、当該 2 社は当社の特定子会社に該当することとなります。

#### 2. 異動する子会社の概要

(1) 名称	日伯紙パルプ資源開発株式会社	Celulose Nipo-Brasileira S.A.	
(2) 所在地	東京都中央区銀座2丁目16番11号	Rodovia BR-381, Km 172, Distrito de Perpetuo socorro, Município de Belo Oriente, Estado de Minas Gerais, Brasil	
(3) 代表者	代表取締役社長 杉崎 眞樹人	取締役社長パウロ エドゥアルド ロシャ ブラント	
(4) 事業内容	パルプの輸出入ならびに売買	パルプの製造販売	
(5) 資本金	61,788 百万円	257百万US\$ (185百万レアル)	
(6) 設立年月日	1971年8月20日	1973年9月13日	
(7) 大株主及び持株比率（小数第三位を四捨五入して表示）	王子製紙株式会社 39.50% 伊藤忠商事株式会社 25.94% 独立行政法人国際協力機構 16.25% 日本製紙株式会社 6.04% 北越紀州製紙株式会社 2.50%	日伯紙パルプ資源開発株式会社 100.00%	
(8) 当社との関係			
資本関係	当該会社は、当社の持分法適用会社であります。	当該会社は、当社の持分法適用会社であります。	
人的関係	当社は、当該会社に役員を派遣しております。	当社は、当該会社に役員を派遣しております。	
取引関係	当社は、当該会社と製品の仕入取引があります。	当社は、日伯紙パルプ資源開発株式会社が仕入れた当該会社の製品を購入しております。	
(9) 当該会社の過去3年間の連結経営成績及び連結財政状態			
	平成22年3月期	平成23年3月期	平成24年3月期
連結純資産	78,837 百万円	82,051 百万円	85,021 百万円
連結総資産	183,969 百万円	158,309 百万円	144,246 百万円
1株当たり連結純資産	637.96 円	663.97 円	688.01 円
連結売上高	49,120 百万円	65,367 百万円	56,673 百万円
連結営業利益	△1,894 百万円	14,808 百万円	5,084 百万円
連結経常利益	△2,973 百万円	11,979 百万円	5,655 百万円
連結当期純利益	△6,123 百万円	8,448 百万円	5,008 百万円
1株当たり連結当期純利益	△49.55 円	68.37 円	40.52 円
1株当たり配当金	- 円	- 円	- 円

### 3. 株式取得の相手先の概要

(1) 名称	独立行政法人国際協力機構		
(2) 所在地	東京都千代田区二番町5-25		
(3) 代表者	理事長 田中 明彦		
(4) 事業内容	開発途上国への技術協力、資金協力等		
(5) 資本金	7兆7,444億円（平成24年3月末）		
(6) 設立年月日	平成15年10月1日		
(7) 純資産	8兆6,370億円（平成23年9月末）		
(8) 総資産	11兆1,529億円（平成23年9月末）		
(9) 大株主及び持株比率	日本国政府 100%		
(10) 当社との関係	資本関係	当該法人との間には特筆すべき資本関係はありません。	
	人的関係	当該法人との間には特筆すべき人的関係はありません。	
	取引関係	当該法人との間には特筆すべき取引関係はありません。	

### 4. 取得株式数、取得価額及び取得前後の所有株式の状況

(1) 異動前の所有株式数	49,233,175株（うち間接保有：420,655株） （議決権の数：49,233,175個）（うち間接保有：420,655個） （所有割合：39.84%）（うち間接保有：0.34%）
(2) 取得株式数	11,718,602株 （議決権の数：11,718,602個） （発行済株式数に対する割合：9.48%） （取得価額：8,788百万円）
(3) 異動後の所有株式数	60,951,777株（うち間接保有：420,655株） （議決権の数：60,951,777個）（うち間接保有：420,655個） （所有割合：49.32%）（うち間接保有：0.34%）

### 5. 異動の日程

- 平成24年6月5日（本日） 株式売買契約締結
- 6月7日（予定） 譲渡承認手続（日伯紙パルプ資源開発株式会社取締役会決議）
- 6月12日（予定） 譲渡完了

### 6. 取得の経緯等

同社は、ブラジル国のユーカリ植林木を利用したパルプ製造を行うことを目的として、日本の紙パルプメーカー11社および伊藤忠商事株式会社が出資し、昭和46年に設立されました。

昭和48年には、ブラジル国策会社であるリオ・ドーセ社と共同でミナス・ジェライス州にパルプ製造会社CNBを設立し、JBPが48.52%、リオ・ドーセ社が51.48%を出資しました。同年11月には、日本政府が本事業に政府支援を与えることを閣議決定し、ナショナルプロジェクトと位置づけ、昭和49年に海外経済協力基金（現在は、独立行政法人国際協力機構が継承）がJBPに出資しました。

平成13年に、JBPがリオ・ドーセ社の所有するCNB株式のすべてを買取り、JBPの100%子会社としました。

今般、独立行政法人国際協力機構の所有するJBP株式のすべてが当社を含む他の株主へ売却されることとなり、本事業は民営化されることとなります。

なお、現在のCNBは、ユーカリ植林地を145千ha保有し、年間120万tのパルプの製造を行っております。

今後、JBPの運営は、中核株主である当社および伊藤忠商事株式会社が担ってまいります。

### 7. 今後の見通し

株式取得に伴う連結範囲の異動による影響額については現在詳細を算定中であります。

平成25年3月期の業績予想につきましては、他の影響等も勘案して修正の必要が生じた場合には速やかに公表いたします。